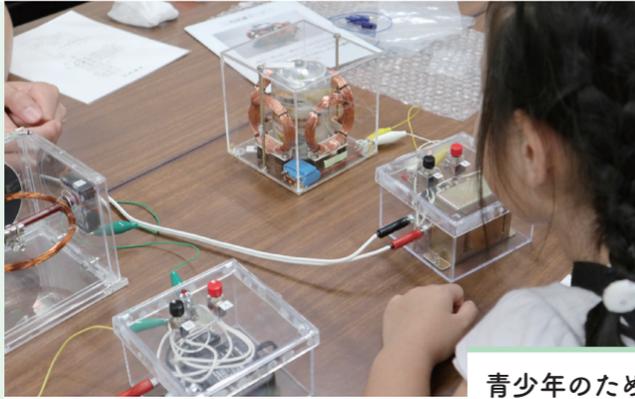


お話を伺いました



「青少年のための科学の祭典」東京大会 in 小金井 実行委員会
大会実行委員長 生尾 光さん 事務局長 本川 交さん

「青少年のための科学の祭典」東京大会 in 小金井
科学技術分野の実験や工作を一堂に楽しめるイベント「青少年のための科学の祭典」の東京大会。当日は実験演示形式で、多彩な実験や工作を展開。出店者は地域の小中学校や高校、大学、専門学校、そして研究機関や企業、行政など。東京大会は2007年より小金井市で開催され、本物の科学に出会える体験型イベントとして地域の人々に親しまれている。(画像はすべて過去の大会より)



青少年のための科学の祭典 東京大会 in 小金井



東京都では2007(平成19)年より「青少年のための科学の祭典」東京大会 in 小金井として、第1回目は都立小金井工業高校で、それ以降は東京学芸大学を会場に大会が開催されてきました。地域の小中学校や高校、大学、専門学校、そして研究機関や企業、行政などが領域を越えて協働することで、科学技術の面白さを知る人材の育成や地域の活力醸成が促進されることを目指しています。

「小中学生のうちに実験をたくさんして、自然界の現象や事象を学ぶ教科であり、物理、生物、化学、地学の総称である。理科を好きになってもらいたい」と東京学芸大学准教授で大会の実行委員会委員長を務める生尾光さんは言います。2019(令和元)年に開催した東京大会では88の出展ブースが並び、市内外から7800人の来場者が訪れました。出展するのは東京学芸大学や近隣大学の研究室のほか、多摩六都科学館や地域の企業、民間団体など様々。光や音、エネルギーに関する実験やものづくり、口

青少年が科学技術(※)に親しむ環境づくりとして、その魅力を実体験できる機会を提供する「青少年のための科学の祭典」。科学技術分野の実験や工作を一堂に集めた実演・体験型イベントとして、1992(平成4)年に東京・名古屋・大阪の3会場が始まりました。その動きは瞬く間に全国に広がり、20年後の2011(平成23)年には全国大会のほか、それぞれの都道府県で118もの県別の大会が開催されるほどになりました。

実体験で得る喜びと
自信が科学の担い手を
育て地域に活力を生む

子どもが「理科離れ」する前に。 地域で取り組む身近な科学を 体感する環境づくり



義足の体験会
(小金井市生涯学習課
スポーツ振興係)



自律移動型ロボット
デモンストレーション
(法政大学小林研究室)

「生活のなかや身近なところにも、科学技術はたくさん使われています。身の回りのいろいろなことを科学的な視点で捉えるきっかけになれば」と生尾さん。

また東京大会の柱の一つとなっているのが、市内の公立小中学生の夏休み

ロボット操作やスポーツ義足の体験、動物との触れ合いなど、いずれも科学振興や地域貢献のために出展者がそれぞれの得意分野で体験の場をつくり、SSH(一面参照)の一つである東京都立多摩科学技術高等学校の生徒がスタッフとしての役割を担っています。

生徒作品展示です。東京学芸大学・東京農工大学・法政大学の教員が審査員となり、毎年数多く集まる児童生徒の自由研究を科学技術の観点から審査し、優れた作品を表彰します。近年では大学の教員たちを驚かせる作品もあり、開催を重ねることにレベルが上がっているというこの展示は、小金井市の子どものための目標にもなっています。

コロナ禍でのオンライン開催では、参加者に実験キットを送るなど、遠隔でも実験やものづくりの体験の提供にこだわり、東日本大震災の被災地である宮城県・福島県と小金井市の子どもたちをつないだサイエンスライブショーを実現させました。

実験を成功させた子どもや地域で役割を果たした生徒、自由研究に手応えを得た子どもたちは喜びを覚え、その成功体験はその先の自信につながっていきます。

「何かに対して目標を立てたり夢を持ったりすることを、子どもたちが率先してできるようになっています。開催の度にそのような子どもたちがこの地域で育っているのが感じられ、長く続けることが出来て良かったと思います」と、大会の事務局長を務める本川交さんは言います。

本川さんが所属する女性だけの国際奉仕団体「国際ソロプチミスト東京―小金井」は大会の第1回から事務局として運営を支えています。

様々な規制が緩和された2023(令和5)年は、3年ぶりに東京学芸大学を会場とした対面での開催を予定している東京大会。9月の開催に向けて新しい仕組みを模索しながら準備を進めています(下コラム参照)。

※「科学及び技術」の意味。「科学」とは一般に事柄の間に客観的なきまりや原理を発見し、それらを体系化して説明することで、「技術」とは理論を実際に適用する手段。

自然界のすべてに関わる様々な「科学」を体験できる1日 2023「青少年のための科学の祭典」東京大会 in 小金井

3年ぶりの対面開催となる今年も、実験をライブで楽しめる「サイエンスライブショー」、工作や実験ができる「ワークショップ」、親子で学べる「講演会」などを開催します。各イベントの参加には事前予約が必要です。詳細はQRコードからHPへ。

日 2023年9月17日(日) 開会式9:30～
第1部10:00～12:00 / 第2部13:00～15:00
場 東京学芸大学(小金井市貫井北町4-1-1) 料 無料
問 ysf55tokyo.k@gmail.com か ☎ 090-7944-1900



毎年人気のサイエンスライブショーには、NPO法人ガリレオ工房の滝川洋二氏が登壇することも。(画像はすべて過去の大会より)

